

アメリカンフットボール部

我々、アメリカンフットボール部は、前年度の4年生が引退してから新たなチームとして活動を始め、秋季リーグで優勝することを目標にして取り組んできました。

その目標に向かい、冬場は体育館で自主トレ、ウエイトトレーニングを行い体の土台づくりに励みました。春になりグラウンドが使えるようになると、週6日の練習を計画的に進めていきました。上級生は効率のよい練習が出来るように日々考えながら、部活動に取り組んできました。

本番である秋季リーグ戦の結果は、北海道15チーム中4位でした。北海道工業大学は、1部リーグに属し、上位6チームの総当りで戦い2勝3敗でした。

最終的な結果は上記に示しましたが、部活動を運営するにあたり最終戦まで様々なプロセスがあります。まず新年度の始まりに伴い、新入生が入ってきます。そして勧誘活動が始まります。アメリカンフットボールは、人数を必要とする競技です。しかし、アメリカンフットボールはあまり知られていないスポーツであり、高校にチームがある所はごく僅かです。そんなスポーツをどのように宣伝していくか頭を捻りながら進め、キタエールでの部活紹介などに取り組み新入部員の獲得に努めた時期もありました。

4月末からは春合宿を行い、グラウンドでの練習を集中的にすることと進部員とのコミュニケーションをとることを目的にしていました。そして、5月頃からは春のオープン戦があります。オープン戦は、練習試合のようなものですが、それまで取り組んできたことを試す場でもあり、またリーグ戦までの課題を見つける場として重要な要素を持っています。更に、8月には、夏合宿を実行しました。夏合宿ではリーグ戦を目前としてのプレーの完成度を高めていく段階に入ります。100%のパフォーマンスに近づくことを目指して取り組んでいきました。このようなことを経験しながら部員全員が成長してきました。目標を見据えて邁進する大切さを知ることができました。

上記の行事を行っていくためには、経済的な部分での問題が発生してきます。試合に関しては、選手登録費（スタッフ登録費含む）や大会などを運営している学生連盟への運営費の支払いがあります。また、チームの運営に関わる防具やボールなどの買い換えの費用が掛かります。アメリカンフットボールは一步間違うと危険を伴うスポーツなので、安全性の維持・確保が欠かせません。その重要性を認識して運営しているつもりです。その中での経済的支援は非常にありがたいことです。

この度は助成して頂き誠にありがとうございました。また、報告が遅れたことに対し深くお詫び申し上げます。



